
向日葵

まー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

向日葵

【Nコード】

N2336N

【作者名】

まー

【あらすじ】

一人の女子高生のひと夏のお話……のはず。

一枚目（前書き）

小説初心者なので、ものつそい不定期更新になると思われます。

季節というか時期を無視している感は否めませんが、あんまり気にせず読んでやってくださいな。

……この連載が終わる頃には夏なんざ終わってるかもですが…（笑）

一枚目

…ちゃん…ゆーちゃん…

…

…

「……好きです。貴方が好き」

7月中旬の少し肌寒い雨の日、わたしはあの人に3年越しの想いを告白した。

「……ありがとう……」

あの人はずいと言ってわたしを優しく抱きしめながら、とても綺麗な涙を流した。

あの子のスーツから香る花の匂いがわたし達を包んでいた。

男の子の涙をこんなに綺麗だと思ったのは、あれが生まれて初めてだったのかもしれない。

彼女だけがそんなわたし達を静かに見守っていた

…そう、思っていたのに。

時は、1日前に遡る。

「まだ梅雨のはずなのに暑い…暑すぎで溶けてなくなる…」

「こらー！それでも暑いんだから、あたしの傍でうだうだすんな、うつとーしい！！」

「ひ、ひっど！親友のわたしに掛ける言葉がそれ！？」

「うるせーあたしだって暑いんだ！」

暑さでだらけていたら、友人の麻弥マヤにそう言って怒られた。

「…なんて友達甲斐のない子なの…！」

ぶつぶつと文句を言っていたら、どうやら聞こえていたらしい。

「そんなこという子は明日祝ってやらんぞー」と、またしても言い返されてしまった。

「えー祝つてよー」

無論、こんなちゃんない合いはいつものおふざけの範疇である。

わたしと麻弥は、高校の入学式で出会ってすぐに意気投合し、2年生となった今でも一番の親友である。

嬉しい事にクラスも2年間同じで、2年生の初めのクラス発表の日に「もしかして3年間一緒だったりして！」

と2人ではしゃいだりもした。

話は大きく変わるがさつきから祝う、祝わない、と言っているが
明日はわたしの誕生日なのだ。
そして、彼女の

「あつ、そういえば由雨^{ユウ}さー」

突然麻弥に呼びかけられて、ふと自分がぼーっとしていたことに気が付く。

「んー？」

すっかり言い忘れていたがわたしの名前は「由雨」だ。

なんだか角ばった名前だが、それで困った経験も

画数がなんたらと言われたことも　　というか気にしたこともないので、

特にどうと言うこともなくそれなりに気に入っている。

「由雨は夏休みオープンキャンパスとか行く？」

さすがに高2ともなると、来年の受験を考えて夏休みの間に各地の大学のオープンキャンパスへ行くことも考えなければならぬ。
い。

「1校ぐらいは行つときたいかなあ…麻弥も一緒に行かない？」

「うん、あたしも行きたい！○○大とかどうよ？」

麻弥が提案したのは、わたしたちの地域から一番近い国立の大学だった。

国立大だけあって偏差値的には結構上位だが、選択としてわたしに

も悪くはない。

「いいよー！あ、でもわたし看護学部の方見たいんだけど、麻弥はどうする？」

「看護学部かあ…あたしは外国語学部見たいんだよねー」

「そっかー麻弥は英語得意だもんねー」

「あ、この間ちよつと調べただけど…説明会の場所は違うけど時間帯は一緒みたいだから、終わったらどっかで待ち合わせしない？」

そんな訳で、8月の初めにあるオープンキャンパスに麻弥と行くことになった。

一枚目（後書き）

オープンキャンパスって、結構楽しいですね。

感想、アドバイス、誤字脱字の指摘などがあればぜひ書いてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2336n/>

向日葵

2010年10月14日16時33分発行